



# 月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043 (222) 7207番

96.6.11 No. 4411

## 支援する会会員の大幅拡大を！

# 動労千葉を支援する 東京集会開催！

### 会員など一三〇名が集う

動労千葉からも三〇名が参加

六月八日、一四時から、平井コミュニティ会館において、「動労千葉を支援する東京集会」が開催され、動労千葉組合員三〇名をはじめ支援する会会員など一三〇名が集い、動労千葉への支援体制をさらに強化するとともに、物販闘争を武器に全国の労働者に正念場を迎えた国鉄闘争への結集をよびかけることなどが訴えられた。

日本労働運動の  
再建の道がある  
高島氏メッセージ

集会は、千教組と自治労川崎の仲間の司会で進められ、開会のあいさつでは、「動労千葉を中心にした闘いを再構築すること、その中に日本の労働運動の再建の道があることを、今、互いに確認しあうことが大切です。動労千葉を支援するということに一切の大義があり、一切はそれに尽きると確信いたします。

動労千葉の皆さん、頑張ってください」という、動労千葉を支援する会よびかけ人代表の高島喜久男氏からの期待を込めたメッセージが紹介された。

連帯のあいさつでは、被災支援連よびかけ人・中島誠氏、動労千葉顧問弁護士・鈴木達夫氏、東部労組大久保製薬支部、新設せつ子杉並区議、西村綾子相模原市議から励ましと連帯のあいさつが行なわれた。

労働者思想を確立し  
実態に根ざした闘いを  
鎌倉孝夫氏が講演

つぎに、埼玉大学教授・鎌倉孝夫氏から「国鉄分割・民営化一〇年の検証―我々の課題」と題して六〇分にわたって講演が行なわれ、国家による「合法的」な不当労働行為の強行であり、国鉄再建ではなく「解体」でしかなかったこと、長期債務の国民負担など一切協力する必

要性がないことなどが語られ、最後に、①労働者としての思想を確立し、資本主義体制への批判を強め、②労働者としての実態に根ざした闘いを展開し、仲間を裏切らないという原点を忘れてはならないことなどが訴えられた。

さらに、動労千葉からの報告では、中野委員長から、この間の支援に心から感謝を述べるとともに、この間の国鉄闘争や列車妨害問題などについて状況を説明し、七月一四日の国鉄労働者集会への圧倒的結集を呼び掛けた。



【写真上】動労千葉を支援する東京集会で、「分割・民営化10年の検証」について講演を行なう埼玉大学教授・鎌倉孝夫氏。

動労千葉を支援する会事務局から「会員の大幅拡大をかちとろう」という基調提起の後、懇親会にうつり、和やかな雰囲気の中で、自治労横浜・庄山氏、出労連・三角氏、東交より二名の仲間、東大分院職組、私鉄共闘、ス労自主・中西氏、TEC労組・山本氏、障福労・佐藤氏、ED労組・杉村さん、元全通大崎支部長・坂本氏から次々にあいさつが行なわれ、動労千葉の分離・独立や分割・民営化反対の第一波闘争当時のことや、職場での運動の取り組み状況などが報告された。

最後に、動労千葉から田中書記長、争議団から椿勇君、家族会から佐藤会長がそれぞれお礼の言葉を述べ、組合歌合唱の後、自治労横浜・庄山氏の音頭で団結カンパロー三唱を行い、集会



【写真右】支援する会会員など一三〇名が集まり、国鉄闘争勝利へ支援する会運動の強化を誓う。

は成功裡に終了した。

動労千葉も、全国の支援に応え、JR総連革マル解体・一掃国鉄闘争勝利へさらに闘いを前進させよう。

### ●当面するスケジュール●

基地をなくせ！安保をつぶせ  
沖縄と連帯する全国反戦集会

とき 六月二三日(日)  
一、二時から

ところ 東京・芝公園23号地